

児童発達支援事業 評価アンケート 多機能型支援事業所笑みっこ

平成30年度 集計結果（公表） 公表：2019年 3月 28日

事業所名：多機能型支援事業所 笑みっこ

保護者等数(利用児：19 回収数：11 割合：57%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1			・基準通り配置しております。 ・保護者の方には、人数や内容など丁寧な説明を行い、支援者のスキルアップを図りながら納得していただけるように取り組みます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	3		・バリアフリーでないため ・玄関の段差高い	・個人差に応じて、スノコや段ボールなどを設置し、昇降しやすいよう工夫している ・個々に合わせ環境調整やスケジュールを設定しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11				・毎日、朝、夕と清掃しています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1			
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	1	・本人は保育園に通っている	・園との平行通園をされている方が多くあります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	1			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	2			・法人内の取り組みとしてありますが周知十分ではなかったので、保護者の方に十分な説明を行いながら周知を図ります。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	2	・仕事の都合で、あまり参加ができていない	・保護者からの希望を聞き取りながら日程や時間を考慮しながら計画を立てます。
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	5			・ホームページやフェイスブックなどで情報をアップしています。啓発が不足しているので、啓発の工夫を行います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	5	1		・マニュアルは策定してありますが、保護者への周知が十分ではなかったため、丁寧な説明を行います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	4	2		・定期的に行なっておりますが、保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1			
	㉓	事業所の支援に満足しているか	11				

ご協力ありがとうございました。

事業所における自己評価結果(公表)

公表：2019 年 3 月 28 日

事業所名：多機能型支援事業所 笑みっこ 児童発達支援事業

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・面積等の設置基準は満たしています。	・子どもたちが分かり易い行動し易い環境を考慮しながら、日々検討しております。ご家族の方にも、環境の意味を説明し、理解を深めます。
	②	職員の配置数は適切である	○		・配置基準は満たしています。	・基準通り配置しております。 ・保護者の方には、人数や内容など丁寧な説明を行い、支援者のスキルアップを図りながら納得していただけるように取り組みます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・子どもたちが分かり易いように、環境を物理的に整理しています。	・段差があり、ユニバーサルではない為、個々に合わせた道具で動きやすい工夫を行い、ハード面の改善に努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、朝、夕に清掃を行っています。 ・それぞれが活動しやすいように工夫しています。	・室内のみならず、室外の環境整備にも努め、地域の方との交流を深めます。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員全体で意識をし、みんなで共通理解を図る時間を設けています。	・PDCAサイクルを意識し、職員全体で徹底し課題解決に向けて取り組みます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・年度末にアンケート調査を行い、保護者からの課題の把握を行い、次年度の事業計画へ反映させています。	・ハード面等で、早急に改善できない部分の説明、対策を十分に行い、理解して頂けるよう努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	・今年度からの取り組みとしています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・今後、検討していきます。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・OJTやOFF-JTに積極的に参加しています。	・学んだものを他職員と共有できるように取り組みます。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・利用の前には担当者会議を開き、ご家族や関係事業所からの聞き取りで状態を把握し、計画に反映しています。ご利用後も毎回、ご家族とお話をしたり連絡帳でのやり取りで情報の共有を図っています。	・計画の内容や支援の内容を丁寧に伝え、本日の子どもの目標達成に向けて活動前にご家族と共有する時間を設定します。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・初期情報収集の為、アセスメントシートを記入して頂いています。	・シートの見直しと改善に取り組めます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		・保護者等の希望や課題を聞き取り、本人の段階を踏まえた計画につなげるよう行なっております。	・今後もガイドラインの理解の徹底、保護者と子どもの課題を調整しながら、将来を見据えた計画になる様見立てる力等のスキル獲得に努めます。

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画を基に、毎回目標を設定し目標達成に向けて取り組んでいます。	・毎回の目標や課題の意味を保護者と共有できる時間の設定を行います。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・プログラムの立案は、チームで振り返りや打ち合わせの中で、それぞれの目標に沿って行っております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・活動内容が固定化しないように、子どもたちの好きな物を取り入れながら意欲的に取り組めるよう工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・子どもたちの発達段階や特性に応じて活動場面で、環境を調整しながらその活動に注目、理解できるよう調整しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・打ち合わせは、チームで振り返りを基に、それぞれの目標に沿って行い、役割分担をしております。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など検討していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・振り返りの時間を設定し、子どもの状況や保護者からの相談内容などを共通理解する時間を設けています。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など検討していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・連絡帳と並行して記録を残すようにしている。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など検討していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリング時期には、保護者の方との面談や担当者会議を開き、保護者や関係機関との連携に努めています。	・担当者会議では、事業所や相談委員が主な為、学校や園などの教育機関との連携の強化に努めます。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・モニタリング時期には、保護者の方との面談や担当者会議を開き、保護者や関係機関との連携に努めています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて連携し情報共有できる体制づくりをしています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れが来ていません。	・地域で支えられるよう地域での連携に努めます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れが来ていません。	・地域で支えられるよう地域での連携に努めます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて園との面談やサポートブック作成や情報提供などにより、共有を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて学校との面談やサポートブック作成や情報提供などにより、共有を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・定期支援や研修会等に参加、研修会等の依頼を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・今後検討していきます。	・児童館等の利用を検討します。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・こども部会へ参加し、圏域の状況の把握に努めています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・親子療育を中心にご家族と子どもの状況や課題について、毎回お話をし共通理解を図っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	・同一法人内に療育センターがある為、そちらと連携しています。	・保護者の方へ啓発します。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明責任など	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時、丁寧な説明を心掛けています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・保護者との面談の時間を設定し、保護者からの課題と現状を把握し見立てた物から計画を作成し、計画の内容を説明しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者の方から相談、連絡帳でのやり取りなど保護者の方が納得できるよう、具体的に話対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・今後、検討していきます。	・場所の提供などを行い、自由に集まれる空間を設定します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者の方からの相談など保護者の方と一緒に考え、最善の手段を検討しお伝えしています。	・今後も保護者からの相談に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・活動内容など毎月のお便りにて直接渡しています。また、アプリを利用し保護者の方と連絡を取れる体制を構築しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の取扱いは十分徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・毎回の療育日に連絡帳を通して、やり取りを行ったり、直接の面談によりお話をしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・企画型をする際には地域の方も巻き込んだ企画となるように検討していきます。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルは作成しています。	・保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・適宜、訓練を行っています。	・保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメントシートに記入して頂き、確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・今後検討していきます。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・過去のヒヤリハットの内容を共有し、改善に努めています。	・ちょっとしたことでも、記録に残せる様に共通理解を図ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止委員会の設置、研修会等へ参加しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・子どもさんの特性を踏まえ、そのような行動が起きないように事前対策に努めています。	・緊急時の対応として個別支援計画に丁寧に記載し同意を得ます。

放課後等デイサービス評価アンケート 多機能型支援事業所笑みっこ

平成30年度 集計結果（公表） 公表:2019年 3月 28日

事業所名:多機能型支援事業所 笑みっこ

保護者等数(利用児:39 回収数:24 割合:62%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	3			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	4	1	・基準通りであるが、その人数で子供たちを見るのは先生が大変そう	・基準通り配置しております。 ・保護者の方には、人数や内容など丁寧な説明を行い、支援者のスキルアップを図りながら納得していただけるように取り組みます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	10		・玄関も靴を履きやすくて良い ・スロープなどはない	・個人差に応じて、スノコや段ボールなどを設置し、昇降しやすいよう工夫している ・個々に合わせ環境調整やスケジュールを設定しています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	24			・わかりやすい	・保護者等の希望や課題を聞き取り、本人の段階を踏まえた計画につながるように行なっております。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24			・色々なプログラムがあり良い	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	15	3	・地域との関わりを設定してもらい偏見をない社会にしてほしい	・子どもの課題によっては地域の公共機関、施設を利用しその場所での過ごし方や交流を図っています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	2			・契約時、報酬改定時等にわかりやすい丁寧な説明に努めます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24			・アドバイスや保護者の話をいつも傾聴して頂きありがたい	・今後も、課題解決にむけて一緒に取り組んで参ります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1		・毎回、事業所で顔を合わせ話ができるので保護者との関わりも良い	・顔を合わせて話せる時間の設定を持ち、共通した理解をすることが必要だと感じます。引き続き、ご家族とお話しできる時間を設定します。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	5		・先着順の企画が多いため、みんなが参加できるようにしてほしい	・保護者からの希望を聞き取りながら日程や時間を考慮しながら計画を立てます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知、説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	3		・苦情はありません ・苦情を聞かない	・苦情解決委員会の活用と苦情ボックス等を設定し、早期発見、対応に努めます
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	3			・ホームページやフェイスブックなどで情報をアップしています。啓発が不足しているので、啓発の工夫をおこします。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24				・個人情報の取り扱いは、十字文注意するよう職員全体で取り組んでいます。今後も共通理解の元徹底していきます。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	10		・緊急時少し預けられると助かる	・法人全体で検討していきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	5			・定期的に行なっておりますが、保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	24				

ご協力ありがとうございました。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2019年 3 月 28 日

事業所名: 多機能型支援事業所 笑みっこ 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・面積等の設置基準は満たしています。	・子どもたちが分かり易い行動し易い環境を考慮しながら、日々検討しております。ご家族の方にも、環境の意味を説明し、理解を深めます。
	②	職員の配置数は適切である	○			・配置基準は満たしています。	・基準通り配置しております。 ・保護者の方には、人数や内容など丁寧な説明を行い、支援者のスキルアップを図りながら納得していただけるように取り組めます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・子どもたちが分かり易いように、環境を物理的に整理しています。	・段差があり、ユニバーサルではない為、個々に合わせた道具で動きやすい工夫を行い、ハード面の改善に努めます。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・職員全体で意識をし、みんなで共通理解を図る時間を設けています。	・PDCAサイクルを意識し、職員全体で徹底課題解決に向けて取り組みます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年度末にアンケート調査を行い、保護者からの課題の把握を行い、次年度の事業計画へ反映させています。	・ハード面等で、早急に改善できない部分の説明、対策を十分に行い、理解して頂けるよう努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・今年度からの取り組みとしています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	・今後、検討していきます。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・OJTやOFF-JTに積極的に参加しています。	・学んだものを他職員と共有できるように取り組みます。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			・利用の前には担当者会議を開き、ご家族や関係事業所からの聞き取りで状態を把握し、計画に反映しています。ご利用後も毎回、ご家族とお話をしたり連絡帳でのやり取りで情報の共有を図っています。	・計画の内容や支援の内容を丁寧に伝え、本日の子どもの目標達成に向けて活動前にご家族と共有する時間を設定します。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・初期情報収集の為、アセスメントシートを記入して頂いています。	・シートの見直しと改善に取り組めます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・プログラムの立案は、チームで振り返りや打ち合わせの中で、それぞれの目標に沿って行っております。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・活動内容が固定化しないように、子どもたちの好きな物を取り入れながら意欲的に取り組めるよう工夫しています。	

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか	○			・個別支援計画に基づき、課題の設定や支援を行っています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			・子どもたちの発達段階や特性に応じて活動場面で、環境を調整しながらその活動に注目、理解できるように調整しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・打ち合わせは、チームで振り返りを基に、それぞれの目標に沿って行い、役割分担をしております。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など検討していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・振り返りの時間を設定し、子どもの状況や保護者からの相談内容などを共通理解する時間を設けています。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など検討していきます。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・連絡帳と並行して記録を残すようにしている。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など検討していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・モニタリング時期には、保護者の方との面談や担当者会議を開き、保護者や関係機関との連携に努めています。	・担当者会議では、事業所や相談委員が主な為、学校や園などの教育機関との連携の強化に努めます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・保護者等の希望や課題を聞き取り、本人の段階を踏まえた計画につながらるように行なっております。	・今後もガイドラインの理解の徹底、保護者と子どもの課題を調整しながら、将来を見据えた計画になる様見立てる力等のスキル獲得に努めます。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・モニタリング時期には、保護者の方との面談や担当者会議を開き、保護者や関係機関との連携に努めています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				
	㉒	医療ケアが必要な子どもの受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れが出来ていません。	・地域で支えられるよう地域での連携に努めます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・必要に応じて学校との面談やサポートブック作成や情報提供などにより、共有を図っています。	・放課後等デイサービスについての認知不足を感じます。学校にも啓発できるように連携していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・必要に応じて学校との面談やサポートブック作成や情報提供などにより、共有を図っています。	・放課後等デイサービスについての認知不足を感じます。学校にも啓発できるように連携していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・定期支援や研修会等に参加、研修会等の依頼を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	・今後検討していきます。	・児童館等の利用を検討します。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			・こども部会へ参加し、圏域の状況の把握に努めています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・親子療育を中心にご家族と子どもの状況や課題について、毎回お話をし共通理解を図っています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			○	・同一法人内に療育センターがある為、そちらと連携しています。	・保護者の方へ啓発します。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明責任など	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時、丁寧な説明を心掛けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・保護者の方から相談、連絡帳でのやり取りなど保護者の方が納得できるよう、具体的に話対応しています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	・今後、検討していきます。	・場所の提供などを行い、自由に集まれる空間を設定します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・苦情解決委員会の活用と苦情ボックス等を設定し、早期発見、対応に努めています。	・今後も保護者からの相談に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・保護者の方から相談、連絡帳でのやり取りなど保護者の方が納得できるよう、具体的に話対応しています	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	○			・個人情報の取扱いは十分徹底しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・毎回の療育日に連絡帳を通して、やり取りを行ったり、直接の面談によりお話をしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		・企画型をする際には地域の方も巻き込んだ企画となるように検討していきます。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・マニュアルは作成しています。	・保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・適宜、訓練を行っています。	・保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・虐待防止委員会の設置、研修会等へ参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		・子どもさんの特性を踏まえ、そのような行動が起きないように事前対策に努めています。	・緊急時の対応として個別支援計画に丁寧に記載し同意を得ます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○		・今後検討していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・過去のヒヤリハットの内容を共有し、改善に努めています。	・ちょっとしたことでも、記録に残せる様に共通理解を図ります。